

事務事業名	市観光協会関係費										担当課	部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務											
事業概要	観光客に対する利便を図るため、観光行政の一翼を担う(公社)藤沢市観光協会に対し、観光案内業務を委託する。また内容の一層の充実を図るため、人件費補助を行う。																	
対象	4. その他	観光客														約	13,357	千人
根拠法令等	その他(要綱等) 公益社団法人藤沢市観光協会補助金交付要綱																	
事業実施内容	観光客に対する案内サービスを提供するため、片瀬江の島観光案内所、観光センター、湘南藤沢コンシェルジュの3カ所で行う。また、公益社団法人藤沢市観光協会の事業運営を行う観光センター本部職員に対する人件費の補助を行う。																	

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 90,675 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		委託料	35,587 千円	観光案内業務委託
		負担金補助及び交付金	55,088 千円	公益社団法人藤沢市観光協会人件費補助
財源内訳	R3年度 支出済額 90,675 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他()		
一般財源	90,675 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
コスト 支出	行政費用 A	110,906	116,744	111,251	94,925						
	(1)現金を伴う支出 (千円)	110,960	116,740	110,800	95,377						
	事業費(支出済額)	106,141	111,880	105,204	90,675						
	償還金利息	0	0	0	0						
	人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	5,596	4,702						
	①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	5,244	4,260						
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	232						
	③退職金相当額	235	289	352	209						
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	451	-452						
	①減価償却費	0	0	0	0						
	②退職給与引当金繰入額	-54	4	451	-452						
	③不納欠損額	0	0	0	0						
	④その他()	0	0	0	0						
	市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	258.33	429,317	269.58	433,060	255.68	435,121	216.24	438,968		
成果実績	指標名	年間観光消費額	目標	99,080	単位	102,468	単位	63,589	単位	65,766	単位
			実績	81,154	単位	93,495	単位	58,604	単位	60,351	単位
備考											

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性 一部見直し	
今後の方針	藤沢駅周辺地区再整備事業に伴い、湘南藤沢コンシェルジュ(所在地:藤沢駅南口2階コンコース)の観光案内業務について見直しを行う。

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	観光総務関係事務費										担当課	部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	01	細目	003	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	観光行政の推進及び円滑化を図るための事務費及び広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体へ負担金を支出し、各事業に参画する。															
対象	4. その他		観光客										約	13,357	千人	
根拠法令等																
事業実施内容	公益社団法人神奈川県観光協会等が実施する広域観光宣伝事業等へ参画し、有効な観光宣伝の展開を図り、また最新の観光情報を収集するため、同協会等に加盟し、それに伴う負担金を支出。															

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 1,093 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		旅費	42 千円	費用弁償、普通旅費
		需用費	41 千円	消耗品費
		負担金補助及び交付金	1,010 千円	負担金(公益社団法人神奈川県観光協会ほか7団体)
財源内訳	R3年度 支出済額 1,093 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ()		
		一般財源	1,093 千円	

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.25人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.25人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
コスト 支出	行政費用 A	6,229	6,479	5,629	2,574										
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,283	6,475	5,630	3,328										
	事業費(支出済額)	1,464	1,615	1,325	1,093										
	償還金利息	0	0	0	0										
	人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,305	2,235										
	①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	4,034	2,130										
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0										
	③退職金相当額	235	289	271	104										
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	-1	-754										
	①減価償却費	0	0	0	0										
	②退職給与引当金繰入額	-54	4	-1	-754										
	③不納欠損額	0	0	0	0										
④その他 ()	0	0	0	0											
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		14.51 429,317	14.96 433,060	12.94 435,121	5.86 438,968										
成果実績	指標名	年間観光消費額	目標	99,080	単位	百万円	102,468	単位	百万円	63,589	単位	百万円	65,766	単位	百万円
	実績	81,154	単位	百万円	93,495	単位	百万円	58,604	単位	百万円	60,351	単位	百万円		
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	江の島マイアミビーチショー負担金										担当課	部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務											
事業概要	各種海浜イベントを開催する江の島マイアミビーチショー事業を実施する。本市における観光資源を活用し誘客宣伝活動を行うことにより、多くの観光客の集客に努め、地域経済の活性化を図る。																	
対象	4. その他	海水浴客														約	569	千人
根拠法令等																		
事業実施内容	海開き事業、アニメCMを活用した宣伝活動、劇場CM上映、YouTube広告など各種イベントを実施した。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、東浜ステージショーやビーチシークレット花火については中止となった。																	

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳															
	支出済額	費目	支出済額 (千円)										主な内容				
	2,779	負担金補助及び交付金	2,779 千円										江の島マイアミビーチショー負担金				
	千円																
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳															
	支出済額	費目	支出済額 (千円)														
	2,779	分担金・負担金															
	千円	使用料・手数料															
		国庫支出金															
		県支出金															
	その他 ()																
	一般財源	2,779 千円															

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.25人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.25人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
コスト	行政費用 A	11,509	12,439	9,105	3,505						
	(1)現金を伴う支出 (千円)	12,370	12,432	9,108	5,014						
	事業費(支出済額)	5,143	5,143	2,652	2,779						
	償還金利息	0	0	0	0						
	人件費合計(①+②+③)	7,227	7,289	6,456	2,235						
	①常時勤務職員等の給与等	6,875	6,856	6,050	2,130						
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0						
	③退職金相当額	352	433	406	104						
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-861	7	-3	-1,508						
	①減価償却費	0	0	0	0						
	②退職給与引当金繰入額	-861	7	-3	-1,508						
	③不納欠損額	0	0	0	0						
	④その他 ()	0	0	0	0						
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		26.81	429,317	28.72	433,060	20.93	435,121	7.99	438,968		
成果実績	指標名	年間海水浴客	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
	実績	1,571	単位	1,551	単位	256	単位	569	単位		千人
備考	海水浴場の性質上、賑わいの創出は天候に左右される面が大きい。目標設定ができない。なお、令和2年度は海水浴場が開設されていないため、海岸利用者の推計値。										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	湘南江の島フェスティバル事業費										担当課	部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務											
事業概要	通年型観光地づくりを目指し、新たな観光資源の発掘、既存の観光資源の有効活用について、地元観光事業者等と連携し、一体となった事業展開を行う。																	
対象	4. その他		観光客													約	13,357	千人
根拠法令等																		
事業実施内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「龍の口竹灯籠」及び「ふじさわ江の島花火大会」は中止し、「湘南江の島春まつり」は催しを稚児行列及び歴史ガイドツアーのみに縮小して実施した。 「湘南の宝石」事業は分散型観光の観点からエリアを拡大して実施した。 また、中止となった「ふじさわ江の島花火大会」による地域経済への影響を考慮し、代替として事業費の一部を「湘南の宝石」の事業費の一部に充当した。																	

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳															
	支出済額	費目	支出済額(千円)													主要内容	
	7,179	負担金補助及び交付金	7,179 千円													湘南の宝石・湘南江の島春まつり	
	千円																
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳															
	支出済額	費目	支出済額(千円)														
	7,179	分担金・負担金															
	千円	使用料・手数料															
		国庫支出金															
		県支出金															
	その他()																
	一般財源	7,179 千円															

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	1.25人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	1.25人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
		行政費用 A	24,298	26,117	22,260	18,586					
		(1)現金を伴う支出 (千円)	24,433	26,106	22,265	18,584					
		事業費(支出済額)	12,388	13,958	11,366	7,179					
		償還金利息	0	0	0	0					
		人件費合計(①+②+③)	12,045	12,148	10,899	11,405					
		①常時勤務職員等の給与等	11,459	11,426	10,084	10,651					
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	140	232					
		③退職金相当額	586	722	676	522					
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-135	11	-5	1					
		①減価償却費	0	0	0	0					
		②退職給与引当金繰入額	-135	11	-5	1					
		③不納欠損額	0	0	0	0					
		④その他()	0	0	0	0					
		市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	56.60	429,317	60.31	433,060	51.16	435,121	42.34	438,968	
成果実績	指標名	イベント来場者数(湘南キャンドル、湘南の宝石)	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-	単位
		実績	195,059	単位	324,235	単位	189,714	単位	251,935	単位	
備考	特定期間に屋外で実施されるイベントで、賑わいの創出は天候に左右される面が大きいので、目標設定ができない。										

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	一部見直し
今後の方針	これまでは、「湘南の宝石」及び「湘南キャンドル」など、ナイトツーリズムに特化した湘南藤沢ナイトツーリズム推進協議会の主導により事業推進が図られていたが、観光客の分散化や周遊性の向上のため、昼夜を問わずに観光客の誘客が図られるよう2022年7月に設立した湘南藤沢活性化コンソーシアムに参画し、更なる観光施策の推進につなげる。

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	湘南藤沢フィルム・コミッション事業費								担当課	部課名	経済部観光課					
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	細目	001	説明	04	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	平成 14 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	1. 本市が舞台となる映像作品制作の誘致を促進する。 2. フィルム・コミッションフォーラムの開催やHPの充実を図り、本事業の市民啓発を更に進める。 3. 本事業から新たな観光振興策を模索し、観光客誘致につなげる。						
対象	1. 個人	市民					438,968 人
根拠法令等							
事業実施内容	本市を舞台とする映画・ドラマ・CM等を広告、宣伝媒体として活用することは、観光客誘致及び本市のシティプロモーションにおける効果が大きいことから、これらのロケ誘致に積極的に取り組むとともに、市内全域における撮影環境の整備を図り、観光地藤沢の情報発信及び撮影隊による直接的経済効果を図る。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
	支出済額	費目	支出済額(千円)		主要内容
		負担金補助及び交付金	27,325 千円		湘南藤沢フィルム・コミッション事業
	27,325 千円				
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		令和3年度 常時勤務職員※ 0.75人工 短時間勤務職員(再任用・任期) 0.00人工 合計 0.75人工 ※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く 会計年度任用職員(配置数) 0.10人	
	支出済額	費目	支出済額(千円)		
		分担金・負担金			
		使用料・手数料			
		国庫支出金			
	27,325 千円	県支出金			
	その他()				
	一般財源	27,325 千円			

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度									
		行政費用 A	30,524	31,100	27,055	35,016									
		(1)現金を伴う支出 (千円)	30,578	31,096	27,056	34,261									
		事業費(支出済額)	25,759	26,236	22,751	27,325									
		償還金利息	0	0	0	0									
		人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,305	6,936									
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	4,034	6,390									
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	232									
		③退職金相当額	235	289	271	313									
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	-1	755									
		①減価償却費	0	0	0	0									
		②退職給与引当金繰入額	-54	4	-1	755									
		③不納欠損額	0	0	0	0									
		④その他()	0	0	0	0									
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	71.10	429,317	71.81	433,060	62.18	435,121	79.77	438,968							
成果実績	指標名	支援作品実績件数	目標	100	単位	件	100	単位	件	100	単位	件	100	単位	件
			実績	164	単位	件	133	単位	件	104	単位	件	132	単位	件
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		一部見直し	
今後の方針	増加する支援数に対応するため、組織内の支援体制を強化する。		

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	海水浴場対策費								担当課	部課名	経済部観光課					
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 34 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	海水浴場の安全性及び快適性を守るため、各海水浴場組合に対して救護警備費の一部を助成する。また藤沢市夏期海岸対策協議会に対して危険防止施設設置費等の一部を助成する。ただし、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の大幅な感染拡大を考慮し、途中休場となった。休場後も一定の訪問客数が想定されたため、海水浴場組合をはじめ各関係機関と連携のうえ、安全安心な海岸維持に取り組んだ。				
対象	1. 個人	海水浴客	約	569	千人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市海水浴場対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	各海水浴場組合に対して救護警備費の一部助成と藤沢市夏期海岸対策協議会に対して危険防止施設設置費等の一部を助成。 ただし、途中休場となった夏期海岸における事故防止・秩序維持等について、適切な対策を講じる必要があることから、海水浴場組合をはじめ各関係機関と連携のうえ、安全安心な海岸維持に取り組んだ。具体的には各海水浴場組合と管理協定を締結し、その管理維持にかかる経費は、藤沢市夏期海岸対策協議会が負担した。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主要内容
	64,814 千円	負担金補助及び交付金	64,814 千円	藤沢市夏期海岸対策協議会補助金
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	64,814 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金	3,347 千円	
	その他()			
	一般財源	61,467 千円		

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.75人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.75人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

コスト	支出	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		行政費用 A	34,060	36,790	36,215	72,505		
		(1)現金を伴う支出 (千円)	34,114	36,786	36,216	71,750		
		事業費(支出済額)	29,295	31,926	31,911	64,814		
		償還金利息	0	0	0	0		
		人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,305	6,936		
		①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	4,034	6,390		
		②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	232		
		③退職金相当額	235	289	271	313		
		(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	-1	755		
		①減価償却費	0	0	0	0		
		②退職給与引当金繰入額	-54	4	-1	755		
		③不納欠損額	0	0	0	0		
		④その他()	0	0	0	0		
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	79.34	429,317	84.95	433,060	83.23	435,121	165.17	438,968
成果実績	指標名	目標	—	—	—	—	—	
		実績	1,571	1,551	256	569		
備考	海水浴場の性質上、賑わいの創出は天候に左右される面が大きい。目標設定ができない。なお、令和2年度は海水浴場が開設されていないため、海岸利用者の推計値。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	観光施設管理費										担当課	部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務									
事業概要	観光客の利便性、市民サービスの向上を図るため、江の島周辺及び島内の施設(観光センター、観光案内所、江の島噴水池、観光案内サイン、中津宮広場、亀ヶ岡広場、龍野ヶ岡自然の森、稚児ヶ淵レストハウス等)の良好な維持管理に努める。															
対象	4. その他											観光客(海水浴客を除く)	約	12,787	千人	
根拠法令等																
事業実施内容	観光客の利便性、市民サービスの向上を図るため、江の島周辺及び島内の施設(観光センター、観光案内所、江の島噴水池、観光案内サイン、中津宮広場、亀ヶ岡広場、龍野ヶ岡自然の森、稚児ヶ淵レストハウス等)の保守、点検、清掃、警備等を実施。															

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 32,748 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		需用費	7,274 千円	消耗品、施設修繕費、観光施設光熱水費電気代・上下水道代
		役務費	3,127 千円	通信運搬費電信電話料、手数料、保険料(施設賠償責任保険他)
		委託料	22,113 千円	施設総合管理委託、清掃委託、警備委託等
財源内訳	R3年度 支出済額 32,748 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	32,030 千円	
		国庫支出金		
3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)				
		令和3年度		
常時勤務職員※		0.75人工		
短時間勤務職員(再任用・任期)		0.00人工		
合計		0.75人工		
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く				
会計年度任用職員(配置数)		0.10人		

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
コスト	行政費用 A	34,255	35,179	42,950	39,685										
	(1)現金を伴う支出 (千円)	29,914	30,750	38,531	39,684										
	事業費(支出済額)	22,687	23,461	32,075	32,748										
	償還金利息	0	0	0	0										
	人件費合計(①+②+③)	7,227	7,289	6,456	6,936										
	①常時勤務職員等の給与等	6,875	6,856	6,050	6,390										
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	232										
	③退職金相当額	352	433	406	313										
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,341	4,429	4,419	1										
	①減価償却費	4,422	4,422	4,422	0										
	②退職給与引当金繰入額	-81	7	-3	1										
	③不納欠損額	0	0	0	0										
④その他()	0	0	0	0											
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		79.79	429,317	81.23	433,060	98.71	435,121	90.41	438,968						
成果実績	指標名	年間観光消費額	目標	99,080	単位	百万円	102,468	単位	百万円	63,589	単位	百万円	65,766	単位	百万円
	実績	81,154	単位	百万円	93,495	単位	百万円	58,604	単位	百万円	60,351	単位	百万円		
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	江の島岩屋運営事業費										担当課	部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	文化的、歴史的な観光施設である江の島岩屋の維持管理を実施する。				
対象	4. その他	観光客(江の島岩屋入洞者)	約	246	千人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市江の島岩屋条例			
事業実施内容	江の島岩屋施設の維持管理運営について、指定管理者である(公社)藤沢市観光協会とともに、安全管理のため保守点検を実施。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主要内容
		需用費	7,645 千円	施設修繕費
		役員費	458 千円	手数料、傷害保険料・損害保険料
	79,748 千円	委託料	71,593 千円	指定管理料、保守点検委託料
	使用料及び賃借料	52 千円	県土木目的外使用料	
財源内訳	R3年度 支出済額	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	79,748 千円	
	79,748 千円	国庫支出金		
		県支出金		
	その他()			
	一般財源			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.75人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.75人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
コスト	行政費用 A	79,065	80,997	91,861	86,685										
	(1)現金を伴う支出 (千円)	78,348	80,972	91,846	86,684										
	事業費(支出済額)	71,121	73,683	85,250	79,748										
	償還金利息	0	0	0	0										
	人件費合計(①+②+③)	7,227	7,289	6,596	6,936										
	①常時勤務職員等の給与等	6,875	6,856	6,050	6,390										
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	140	232										
	③退職金相当額	352	433	406	313										
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	717	25	15	1										
	①減価償却費	18	18	18	0										
	②退職給与引当金繰入額	699	7	-3	1										
	③不納欠損額	0	0	0	0										
	④その他()	0	0	0	0										
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		184.16	429.317	187.03	433.060	211.12	435.121	197.47	438.968						
成果実績	指標名	観光客数 (江の島岩屋 入洞者数)	目標	242	単位	千人	246	単位	千人	250	単位	千人	254	単位	千人
	実績	362	単位	千人	267	単位	千人	223	単位	千人	246	単位	千人		
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	江の島サムエル・コッキング苑管理費										担当	部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	文化的、歴史的な観光施設である江の島サムエル・コッキング苑の維持管理を実施する。						
対象	4. その他	入苑者	約 566 千人				
根拠法令等	条例(市)	藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例					
事業実施内容	文化的、健康的な観光施設である「江の島サムエル・コッキング苑」の管理運営を行い、観光事業の振興を図る。入苑者数の増加を維持するには、新規の来訪者だけではなく、リピーターの確保が重要であり、そのために適正な管理運営に努めるとともに、年間を通じて様々なイベントを実施する。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主要内容
	76,982 千円	需用費	1,020 千円	施設修繕費
		役務費	88 千円	傷害保険料・損害保険料
		委託料	75,732 千円	指定管理料
使用料及び賃借料		142 千円	土地賃借料	
財源内訳	R3年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	76,982 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料	64,471 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ()				
一般財源	12,511 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.75人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.75人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度										
コスト	行政費用 A	84,770	85,425	86,754	83,919										
	(1)現金を伴う支出 (千円)	80,143	80,710	82,049	83,918										
	事業費(支出済額)	72,916	73,421	75,453	76,982										
	償還金利息	0	0	0	0										
	人件費合計(①+②+③)	7,227	7,289	6,596	6,936										
	①常時勤務職員等の給与等	6,875	6,856	6,050	6,390										
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	140	232										
	③退職金相当額	352	433	406	313										
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	4,627	4,715	4,705	1										
	①減価償却費	4,708	4,708	4,708	0										
	②退職給与引当金繰入額	-81	7	-3	1										
	③不納欠損額	0	0	0	0										
	④その他 ()	0	0	0	0										
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		197.45	429,317	197.26	433,060	199.38	435,121	191.17	438,968						
成果実績	指標名	観光客数(江の島サムエル・コッキング苑 入苑者数)	目標	595	単位	千人	600	単位	千人	605	単位	千人	610	単位	千人
	実績	878	単位	千人	808	単位	千人	448	単位	千人	566	単位	千人		
備考															

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価の視点と具体的内容	
評価	必要性 藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか 高
	有効性 事務事業の実施手法の有効性は高いか 高
	効率性 事務事業の実施にあたり、効率性は高いか 高
	公平性 事務事業の公平性は高いか 高
	その他 上記評価の視点以外に、特記すべき内容 無
事業の方向性	一部見直し
今後の方針	リニューアル整備や料金体系の見直しを行い、今後は施設の効用を発揮し経済振興のほか交流人口の創出につなげる取組を行う。

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------

事務事業名	片瀬東浜駐車場運営事業費										担当課	部課名	経済部観光課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	004	説明	01	課等の長	木村 嘉文	電話	3421

1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	片瀬東浜駐車場の運営により、観光客の利便性向上と各種観光事業の円滑な運営を図る。						
対象	4. その他	観光客(片瀬東浜駐車場利用者)					24,434 台
根拠法令等	条例(市)	藤沢市片瀬東浜駐車場条例					
事業実施内容	指定管理者である(公社)藤沢市観光協会とともに、片瀬東浜駐車場の維持管理運営を行った。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額	18,781 千円	
	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主要内容
	役務費	5 千円	傷害保険料・損害保険料
	委託料	18,776 千円	指定管理料
財源内訳	R3年度 支出済額	18,781 千円	
	事業費節別財源内訳		
	費目	支出済額(千円)	
	分担金・負担金		
	使用料・手数料	18,781 千円	
	国庫支出金		
県支出金			
その他()			
一般財源			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.50人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.50人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.10人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度			
コスト	行政費用 A	22,294	22,247	22,706	23,483			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	22,348	22,243	22,707	23,483			
	事業費(支出済額)	17,529	17,383	18,263	18,781			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,819	4,860	4,444	4,702			
	①常時勤務職員等の給与等	4,584	4,571	4,034	4,260			
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	140	232			
	③退職金相当額	235	289	271	209			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-54	4	-1	0			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	-54	4	-1	0			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
	④その他()	0	0	0	0			
	市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	51.93	429,317	51.37	433,060	52.18	435,121	53.50
成果実績	指標名	観光客数(片瀬東浜駐車場利用台数)	目標	19,940 台	20,200 台	24,200 台	24,442 台	
	実績	23,070 台	22,802 台	22,113 台	24,434 台			
備考	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は4月16日~5月28日の41日間、令和3年度は8月12日から9月30日の50日間一般利用を中止した。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	饗庭 功	確認日	2022/9/2
----	-----	----	------	-----	----------